

未来の光

学校 HP <http://www.kawanishi-hyg.ed.jp/tadahipo/>

「人(ヒト)とのかかわり」のなかで・・・

令和5年度がスタートをして、早くも2か月が過ぎました。本日5月31日(水)、緊急時お迎え訓練にご協力をいただき、誠にありがとうございました。今回は、保護者の方ご自身がお迎えにご来校いただいたケースが多かったと思います。本当に大きな有事の際、保護者の方のご来校が難しくなる場合もあるのではないのでしょうか。そのようなことも想定して、ご近所の方やご友人に・・・ということもお考え合わせください。



さて、1年生が生活科の学習で2年生と共に「学校探検」を行いました。校長室・事務室・職員室では、2年生が事前に準備したかわいらしい説明がありました。その説明を熱心に聴いている1年生、優しくエスコートする2年生。その姿に、子どもどうしのかかわりの中で、学びが生まれているようすがあり、「いいなあ」と感じました。



先日、3年生は3日間に分け、校区探検に出かけていました。その中で、自転車に乗っていた地域のおじさんには道を譲っていただいたり、「先生の言うこと、よう聞いて、がんばりやあ」とお声かけいただいたり、地域の方々とのかかわりを感じることができたと報告を受けました。



このような「人(ヒト)とのかかわり」は、子どもたちの学び、成長にとって、とても大事な要素です。

学校教育目標、「自ら学び、心豊かで、たくましい子どもたちが育つ教育の推進～家庭・地域ともに、一人ひとりの「生きる力」を育む多田東小学校～」としています。

5月21日(日)、多田東コミュニティ協議会の総会があり、その中で、「子どもの未来」「防災防犯への対策」「地域分権制度への挑戦」という3つの視点から地域の絆を深め、多田東のまちづくりを進めていこうと地域別構想が明らかにされていました。キャッチフレーズも、「子どもたちが安心して『夢に挑戦』できる多田東」とあり、地域で子どもを大事にして育てていこうとしているようすがあることは、子どもの教育に携わる学校として、とてもありがたく感じています。

従来の「見守り隊や青パト巡回、子ども食堂、スポーツイベント、舎羅林山での自然活動の推進」に加えて、本校、学校運営協議会(コミュニティスクール構想)との連携強化、地域学校協働本部事業の推進をさらに進め、多田東の子どもたちが、家庭・地域・学校の連携の中で、心豊かにたくましく育っていくことを推進してまいりたいと考えます。

6月の予定

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
1日(木)	児童集会						
5日(月)	水慣れ						
7日(水)	出前授業						
8日(木)	歯科検診						
9日(金)	尿検査予備日						
		子ども 防犯教室	13:50～ 14:35				
12日(月)	水泳指導開始					10分間読書 ～16日(金)	
13日(火)	給食試食会 10:00～13:00					4時間目まで 13:20下校	
14日(水)	尿検査予備日					修学旅行 ～14日(木)	
15日(木)	子ども 防犯教室					回復日	
16日(金)	クラブ活動						
19日(月)	10分間読書～23日(金)					10分間読書	
20日(火)						4時間目まで 13:20下校	
26日(月)	環境体験 学習					自然学校 ～24日(土)	
27日(火)	里山体験 学習					回復日	
29日(木)						4時間目まで 13:20下校	
30日(金)	委員会活動						

きんたくん学びの道場:2日(金)、7日(水)、9日(金)、14日(水)※5年のみ、16日(金)、21日(水)※6年のみ、23日(金)※6年のみ、28日(水)

学校では、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、5月8日から「5類感染症」になり、個人の主体的な選択を尊重するようになりました。マスクについては、着用は個人の判断に委ねることを基本としています。手洗い等の手指衛生については、新型コロナの特徴を踏まえた基本的感染対策として、引き続き有効であるとの捉えから継続しています。そして、教室は2方向の窓を常時開放し、換気に努めています。このような基本的感染対策を行いながら、ポストコロナの新たな日常の中で、着実に教育活動を進めてまいりたいと考えています。



【再掲】

※高温多湿の時期を迎えるにあたり、子どもたちが「自分で自分の命を守る」健康管理として気をつけることについて、保護者のみなさまにご協力をお願いいたします。

①登下校時

- 帽子を着用させましょう。
- 日傘、濡らしたタオル等を首に巻くなどもOKです。
- 通気性の良い衣服や吸水性、速乾性に優れた下着などの着用など、暑さ対策を心がけましょう。
- 携帯扇風機も暑さ対策の一つと考えます。時と場所、使い方を考えて、自己管理で持ってきて構いません。



②水分補給

- 水分を十分に補給できるよう、1日分のお茶（1ℓぐらい）が入るような水筒をご用意しています。
- ペットボトルそのままの状態での持参はNGです。ペットボトルカバー等をつけましょう。
- 体育科授業のある時は、お茶に加えて、スポーツドリンクも必要に応じてご準備願います。

③ランドセルについて

- 現在ランドセルを使用していて負担を感じている（暑いなあ、重たいなあ）場合、両手が自由になるリュックサックやショルダーバック、手提げ袋等に変えることはOKです。
今まで通りランドセルもよし、リュックサックに変更もよし、日によって使い分けもよし、柔軟にご対応いただきますよう、アドバイスを願います。



④置き勉について

- 基本的に、宿題に使わない教科書は学校に置きとどめること（置き勉）も引き続き実施します。

どの学年も、国語・算数以外は、置き勉の対象（学校に置いてもいい）ということにしています。ただし、宿題に関係するときや、自分で家庭学習に使うときはその限りではないということです。

⑤タブレットについて①

- タブレットの持ち帰りについては、「次の日の学習で必要なときは、学級担任から、連絡帳に持ち物として、タブレットを記述し、必ず持ってくるようにする。記述がなければ、家庭に置いておく。」を基本とします。



⑤タブレットについて②

- 「週末の金曜日には学校から必ず持ち帰り、土日曜日の家庭学習に使用する」は継続します。
- 学習活動の継続性から、学級担任の判断で「学校に置いて帰る」ということもあります。
- また、家庭から持って行っても予定通りには使用（できない）しない場合もあり得ます。

⑤タブレットについて③

- 置き勉や、タブレットは必要な時だけとしていますが、教科書とタブレットの両方が重なる場合もあり、そのような時は子どもたちには負担があると、ご指摘のあることも認識しています。しかしながら、「タブレットの中に教科書が入る時代が来ている」のも事実で、紙媒体の教科書とタブレットの併用、今後も進んでくると思っています。